

【令和3年度 学校教育課の課題と取り組み】

令和3年4月28日 総合教育会議資料

①新型コロナウイルス感染症対策

- ・感染予防
- ・学力保障
- ・体力保障
- ・心のケア

②学力の充実

- ・新学習指導要領への適切な対応、指導方法の工夫改善、ICT教育の推進、英語教育の充実、読書の推進等。

③ICTの活用

- ・令和2年度に整備したタブレット、校内通信ネットワーク、電子黒板等の有効活用。

④不登校児童生徒への対応

- ・不登校児童生徒の居場所確保と学校への復帰を目指すために、町内2会場に教育支援センター「やまと教室」を常設。

⑤学校施設整備

- ・学校校舎・体育館・給食調理室等老朽化に伴う修繕等対応。
優先順位をつけながら実施。
- ・校舎危険箇所の設計委託（清和小・清和中）
- ・トイレ洋式化の推進

⑥廃校校舎の跡地利用の検討

- ・校舎 5 校（中東小、中南小、大野小、菅尾小）
- ・体育館 3 校（御岳小、大野小、菅尾小）
- ・グラウンド 6 校
（中東小、中南小、御岳小、大野小、菅尾小、東竹原小）

⑦ふるさと学「やまと学」の特色ある展開

- ・各校に助成し、総合的な学習の時間を活用して、ふるさとの自然、産業、歴史、文化等を素材に学習。
- ・地方創生臨時交付金（令和 3 年度が最終年度）を活用。事業効果を検証の上、翌年度以降を検討。

⑧学校と地域の連携の推進

- ・学校と地域の連携強化のため、コミュニティ・スクール（国版の学校運営協議会設置の学校）の導入に向けた検討。

⑨スクールバス運行の検討について

- ・スクールバス乗車基準の見直し

⑩部活動の外部指導員の導入促進

- ・指導員の募集、指導要領の周知

⑪学校規模適正化検討委員会

令和元年度から令和 2 年度にかけて学校規模適正化検討委員会を 8 回開催し、小学校・中学校の適正規模・適正配置についての検討を行いました。その結果をとりまとめた「山都町の学校規模適正化に関する報告書」を令和 3 年 3 月 30 日に検討委員会から教育委員会へ提出されました。

本報告書を踏まえ、子どもたちにとってより望ましい教育環境の実現に向け、教育委員会では、令和 3 年度に「山都町学校規模適正化基本方針」を策定する計画です。 方針の骨子（案）→〔学校教育課 資料No.2〕